

# スーパースマイル新聞

2020年（令和2年）夏号（vol.102） くしま矯正歯科通信

〒545-0011 大阪市阿倍野区昭和町 1-21-22 徳山ビル4F

TEL 06-6628-8148 FAX 06-6627-0878 HP <https://www.kushima-ortho.com>



## 矯正歯科医院の選び方について

今までも何回か院内新聞でセカンドオピニオンについて書かせていただきました。実際当院に矯正相談に来られる方の半数は“現在 他院で矯正中なのですがなかなか進まないの”とか“子供のころ矯正をしましたが歯並びなど気になるので”という患者さんで セカンドオピニオンを希望して来られています。

再度矯正するとなると 患者さんにしたら費用がまた掛かりますし、新たな装置を入れることで経済的にも精神的にも負担が大きいですし、一方治療する我々の側にとっても 元の状態がわからないので どういう治療を行ったから今の状態になったのかがわかりにくく、今後の治療方針の決定が難しくなります。

一般歯科医院で矯正治療を相談される時、医院側の対応として下記のようないくつかのパターンがあると思います。

- A: 大丈夫です。気にしなくていいですよ。様子見ましょう。
- B: 気になるなら自分で探してください。大学病院でも行かれたらどうですか。
- C: うちでは矯正はしていないので、知り合いの矯正歯科医院を紹介しましょう。
- D: 当院に定期的に矯正専門の先生が来ていますので診てもらいましょう。
- E: 私が治療しましょう。

A から E のどれでしょうか？

トラブルで来られる装置の代表に“マウスピース型矯正”というものがあります。初診時から終了時までの予測される状態から作成した透明のプラスチックの歯型を順番に 終日はめることにより治すものです。患者さんにしたら 装置が見えなくてうれしいですが、適用症が限られており、専門医であってもかなり経験の必要な方法です。



またネジで歯列を拡げて歯並びを治す“拡大床”と呼ぶ装置もトラブルが多い装置です。右下の模型は拡げため奥歯が噛めなくなって来院された患者さんです。歯列の拡大で治すことが好ましくない場合には通常小臼歯を抜歯して隙間を作り治します。

抜くか抜かないか、この判断は最も重要です。

以下の6項目は矯正歯科専門団体である日本臨床矯正歯科医会が発表している矯正歯科医院を選ぶ目安です。

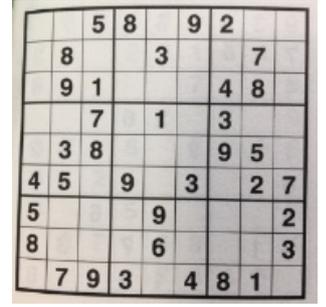
- ① 頭部 X 線規格写真（セファログラム）検査をしている
- ② 精密検査を実施し、それを分析・診断した上で治療をしている
- ③ 治療計画、治療費用について詳細に説明をしている
- ④ 長い期間を要する治療中の転医、その際の治療費精算まで説明をしている
- ⑤ 常勤の矯正歯科医がいる
- ⑥ 専門知識がある衛生士、スタッフがいる

矯正治療には長年の数多くの経験のみでなく、きっちり資料を採得することが必要です。なかでも顎の形態や成長を見るための“セファロ”とよぶ顔の側面のレントゲンは必須です。撮ってもらっているかどうか、そしてその結果や治療方針をしっかりと聞いて納得してから開始してくださいね。

名誉院長 久島文和

## スタッフ便り

新型コロナの長い自粛中 皆さまはどのように過ごされましたか？ ステイホーム中 私は 近辺を歩いたり、自転車に乗ったり アルバムの整理をしたり パソコンで人気映画の video など見て過ごしました。そして今回 初めて数独を楽しみました。数独は以前から何度か雑誌などで見たことはありましたが、イギリスのジョンソン首相がコロナで入院中 ずっとしていたという報道があり興味を持ちました。3x3 のブロックに区切られた 9x9 の正方形の枠内に 1~9 までの数字を入れる ペンシルパズルの一つとされています。100 円ショップにナンプレという名前で売られていると知り 初級編と中級編を買いました。初級編の第一問は目標 4分とありましたが 1 時間かかってしまいました。中級制覇までにはかなりかかりそうです。でも最後にできたときはとても興奮しました。週刊誌などにもたくさん載っていますね。どのようにして あの問題を次々と作るのかわかりません。どなたかご存知でしたら教えてくださいね。(久島文和)



6月17日(水)のお昼休みに、チームスタッフが私の43歳の誕生日をお祝いしてくれました。お寿司の出前をとってくれた上、誕生日プレゼントはバカラのグラスをいただきました。現在 ダイエット中のため極力アルコールを控えていますので、帰宅後にバカラのグラスでお水を飲みました。いつもより美味しく感じたことは言うまでもありません。いくつになってもお祝いをしていただけることは嬉しいです。チームスタッフの皆さん、ありがとうございました！最近ウォーキングがプチマイブームとなっております。難波や梅田まで歩くことが度々あります。梅雨の時期に入り、ジメジメして体調を崩しやすい気候ですが、負けずに励んでいこうと思います。(久島和彦)

